

7月実施の観光に関するアンケート 集計結果

実施期間 令和7年7月7日8:00から18日23:55

対象 会津美里町ライン登録者3,012名(令和7年6月20日時点)

回答 143件(回答率 4.74%)

問1 男女等の別

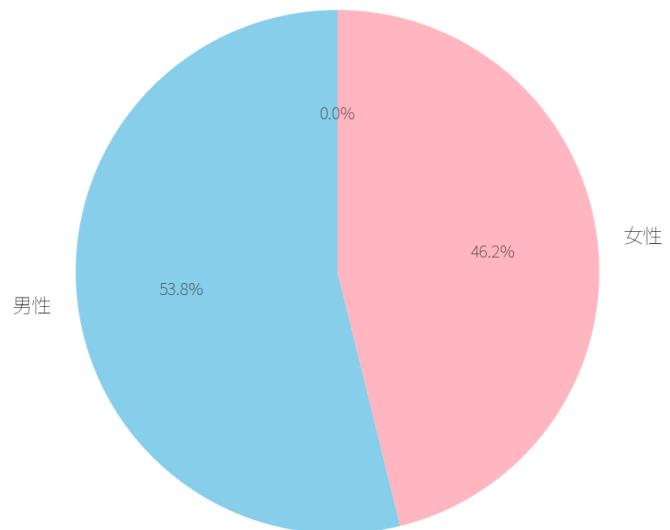
■【問1】男女等の別

男性:77人(53.7%)

女性:66人(46.0%)

その他・答えない:0人

分析:男性と女性のバランスは比較的均等であり、性別による偏りは見られない。



問2 お住まいの地域

■【問2】お住まいの地域

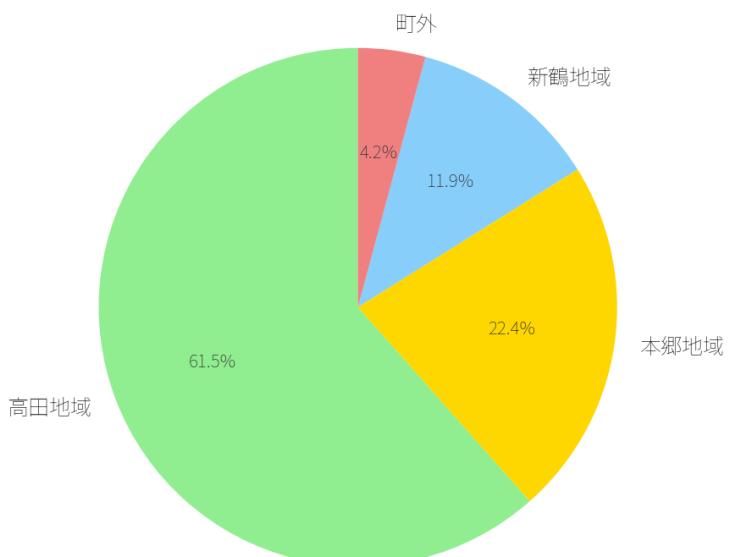
高田地域:88人(61.1%)

本郷地域:32人(22.2%)

新鶴地域:17人(11.8%)

会津美里町以外:6人(4.2%)

分析:回答者の6割以上が高田地域在住であり、高田地域の意見が強く反映されている。



■【問3】年齢

60代:42人(29.2%)

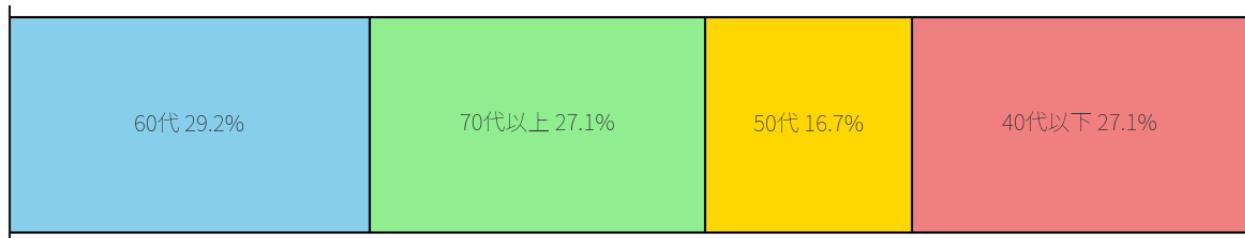
70代以上:39人(27.1%)

50代:24人(16.7%)

40代以下合計:39人(27.1%)

分析:60代以上が半数を超え、高齢層の回答が中心。観光施策では高齢層に配慮した企画や情報発信手段(紙媒体など)も検討すべき。

問3 年齢 (割合)



■【問4】一番好きな観光スポット(単一回答)

観光スポット 回答数

伊佐須美神社 84

御田植祭り 42

あやめ祭り 40

会津三十三観音めぐり 25

高田大俵引き 23

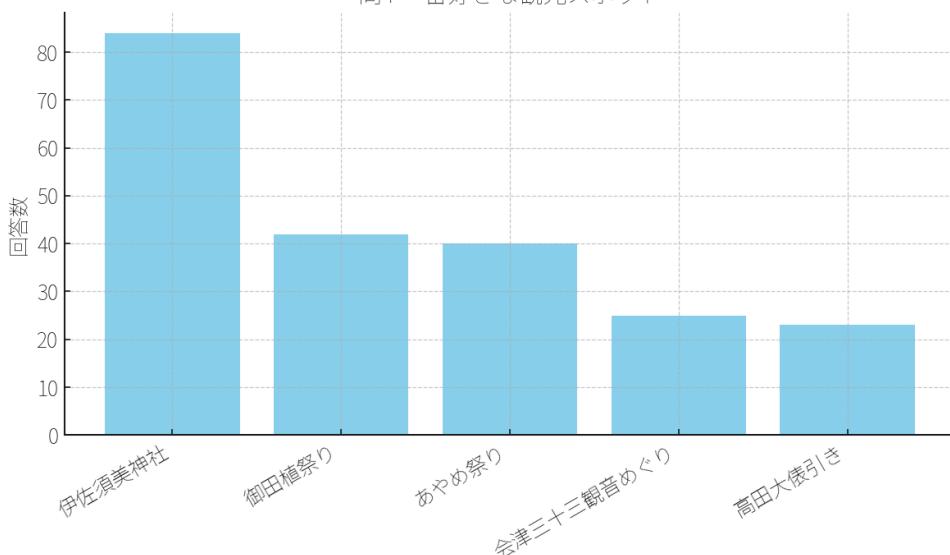
分析:伊佐須美神社(84票)が圧倒的な人気で、地域の「象徴的存在」としての支持が強い。

季節イベントでは「御田植祭り(42)」や「あやめ祭り(40)」がほぼ同数で人気が高く、祭り文化に対する住民の愛着が感じられる。

「会津三十三観音めぐり」「高田大俵引き」も一定の評価をあり、宗教・伝統行事の継承意識がうかがえる。

回答内容からは、「観光資源=歴史・信仰・伝統文化」という地元住民の意識構造が明確に表れている。

問4 一番好きな観光スポット



■【問5】高田地域における一番好きな観光スポット(単一回答)

観光スポット 回答数

伊佐須美神社 113

宮川千本桜 15

法用寺 5

蓋沼森林公园 2

龍興寺 1

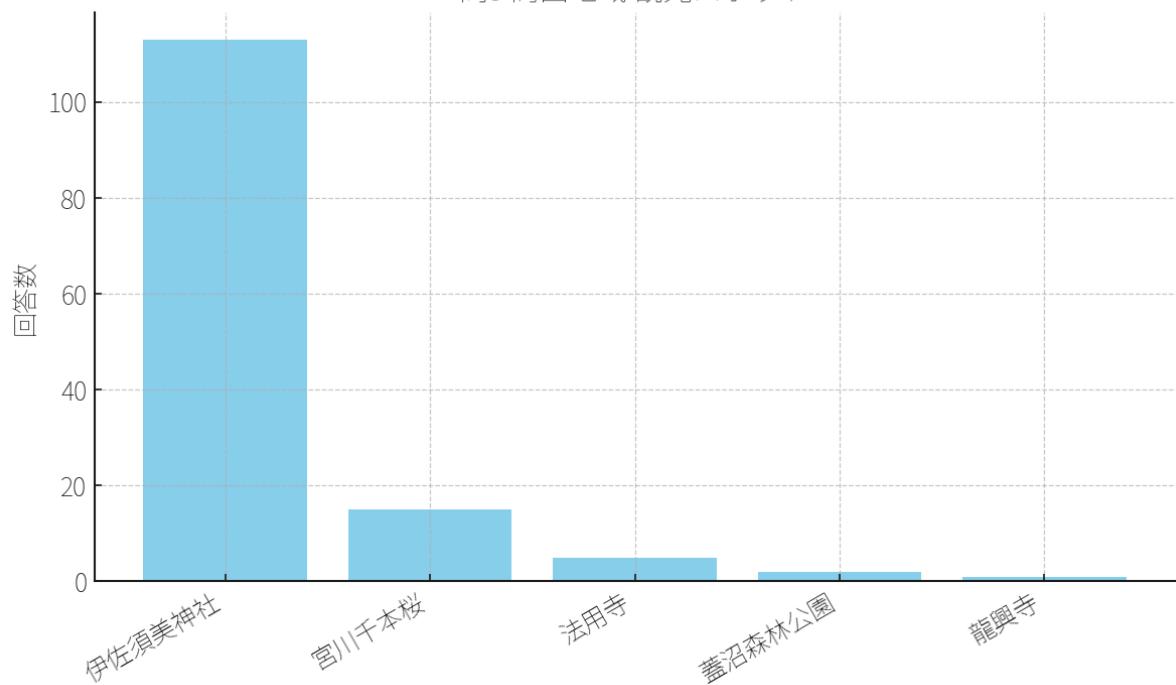
分析:伊佐須美神社(113 票)が高田地域内でも圧倒的に支持されており、地域の誇りかつ核となる観光資源であることが明確。

次点の「宮川千本桜(15 票)」は春季の桜観賞地として一定の人気があり、季節イベント的な要素として観光価値がある。

他のスポット(法用寺・蓋沼森林公园・龍興寺)は認知・人気ともに限定的で、今後の発信・磨き上げの余地が大きい。

高田地域における観光資源の集中度が非常に高く、伊佐須美神社を中心とした周辺回遊型観光の構築が有効と考えられる。

問5 高田地域 観光スポット



■【問6】本郷地域における一番好きな観光スポット(単一回答)

観光スポット 回答数

会津本郷焼の窯元 66

向羽黒山城跡(むかいはぐろやまじょうあと) 36

せせらぎ公園オートキャンプ場 22

本郷温泉湯陶里(ゆとり) 6

左下り観音(さくだりかんのん) 5

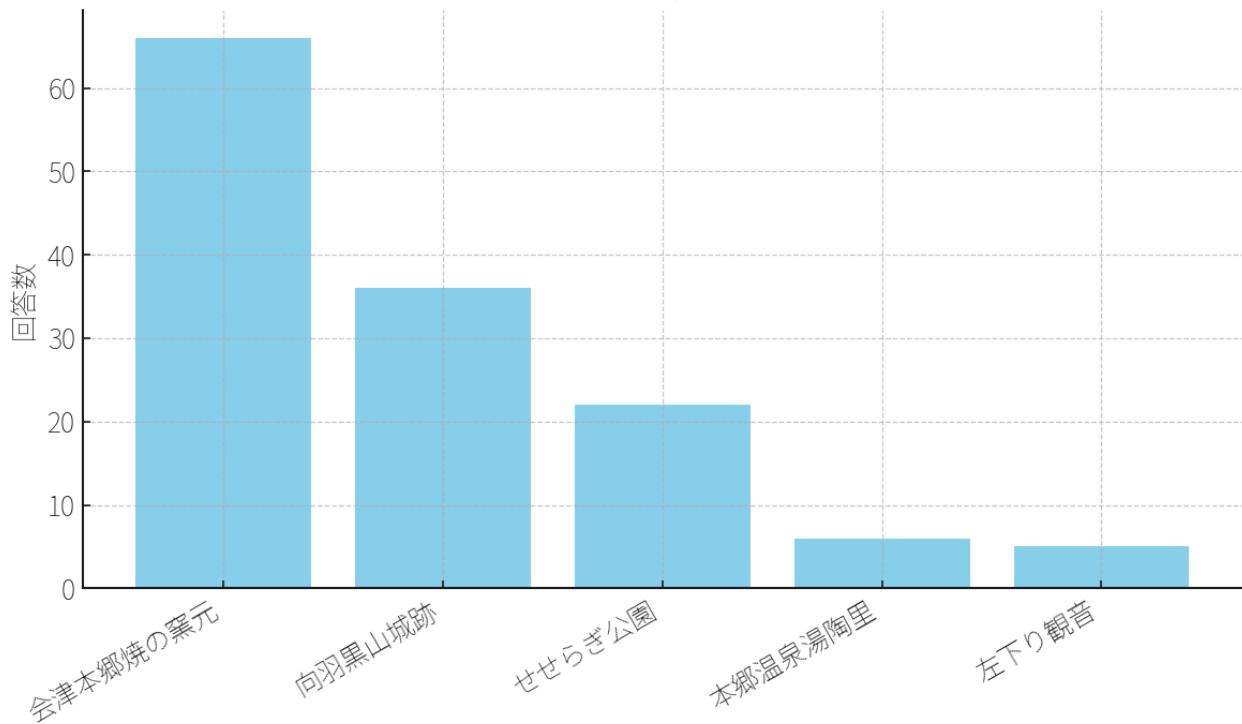
分析:最も支持されたのは「会津本郷焼の窯元(66 票)」で、本郷地域の伝統工芸としてのブランド力が強く反映されている。

「向羽黒山城跡(36 票)」も次いで人気があり、歴史ファンや地域遺産への関心が高いことがうかがえる。

「せせらぎ公園(22 票)」は自然・レジャー系のスポットとして一定の支持があり、ファミリー層やアクティビティ志向層への訴求力がある。

一方、「温泉」「観音」などは票数が少なく、観光資源としての訴求力が今後の課題。

問6 本郷地域 観光スポット



■【問7】新鶴地域における一番好きな観光スポット(単一回答)

観光スポット 回答数

新鶴温泉 57

新鶴ワイナリー 37

中田観音 24

ふれあいの森公園 6

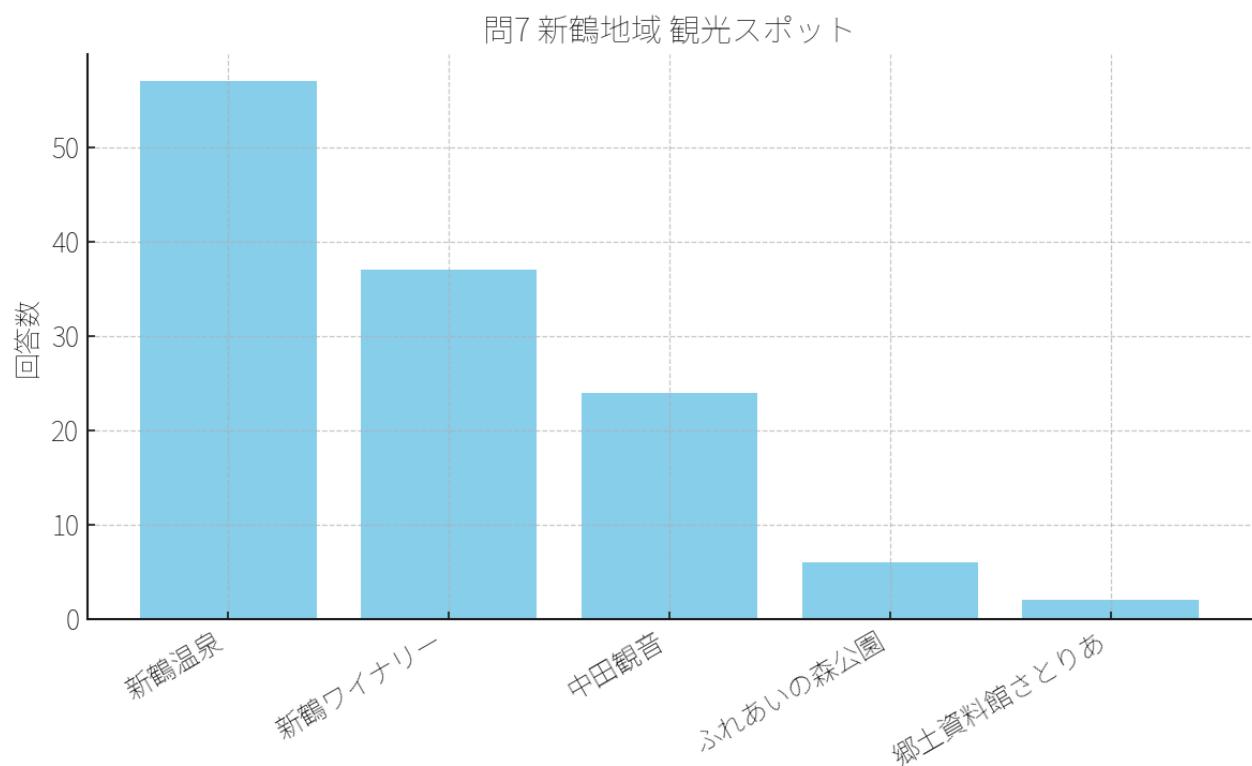
郷土資料館さとりあ 2

分析:「新鶴温泉(57 票)」が最も人気であり、地域住民にとっての癒しや日常的な観光資源として高く評価されている。

「新鶴ワイナリー(37 票)」も続いており、地元産品・体験型コンテンツへの支持が見られる。

「中田観音(24 票)」は宗教・歴史系の定番スポットとして一定の地位を保持。

「ふれあいの森公園」や「さとりあ」は認知度・魅力度ともに限定的で、今後の磨き上げや広報強化が課題。



■【問8】会津美里町のおみやげとしてふさわしいと思うもの(単一回答)

おみやげ品目 回答数

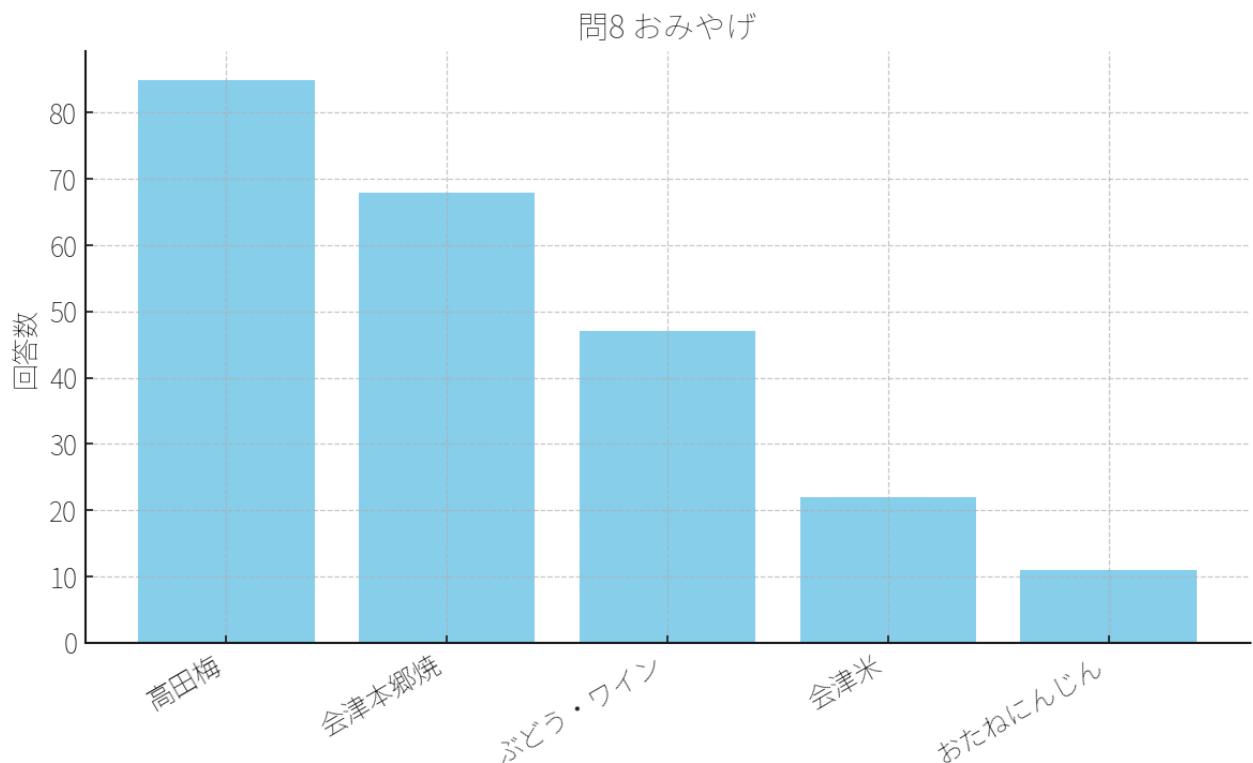
高田梅	85
会津本郷焼	68
ぶどう・ワイン	47
会津米	22
おたねにんじん	11

分析:「高田梅(85 票)」が最多であり、地元の農産品としての認知度・親しみやすさ・贈答性の高さがうかがえる。

次いで「会津本郷焼(68 票)」が続き、工芸品としての価値・特産品としてのブランド力が定着している。

「ぶどう・ワイン(47 票)」も人気があり、加工品や地元産品の展開に対する期待の高さが読み取れる。

「会津米(22 票)」や「おたねにんじん(11 票)」は相対的に票が少なく、商品の個性・パッケージ・販売方法の工夫が今後の課題と考えられる。



■【問9】観光するうえで会津美里町に求めるもの(複数回答)

項目 回答数

地元のものを買うところ(物産館など) 78

飲食店 71

宿泊施設、温泉施設 63

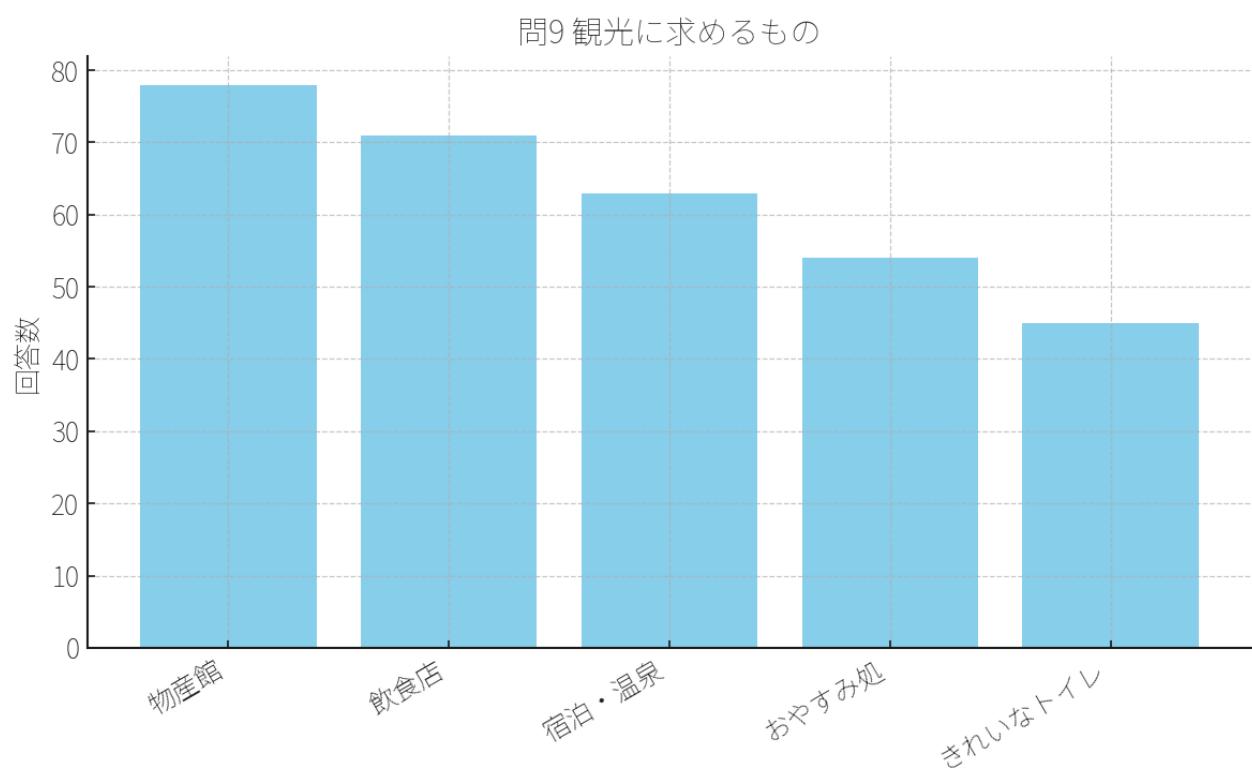
おやすみ処(座って休める快適な空調がある施設) 54

きれいなトイレ 45

分析:最も多く挙げられたのは「地元のものを買うところ(78 票)」であり、観光客にとっての買い物・おみやげ環境の充実が強く求められている。

次いで「飲食店(71 票)」、「宿泊・温泉施設(63 票)」が続き、滞在性や体験性を高める基本的な観光インフラへのニーズが高い。

「おやすみ処(54 票)」や「きれいなトイレ(45 票)」といった、快適性・休憩環境の整備も中核的要素として挙げられている。



■【問 10】観光協会に求める役割(複数回答)

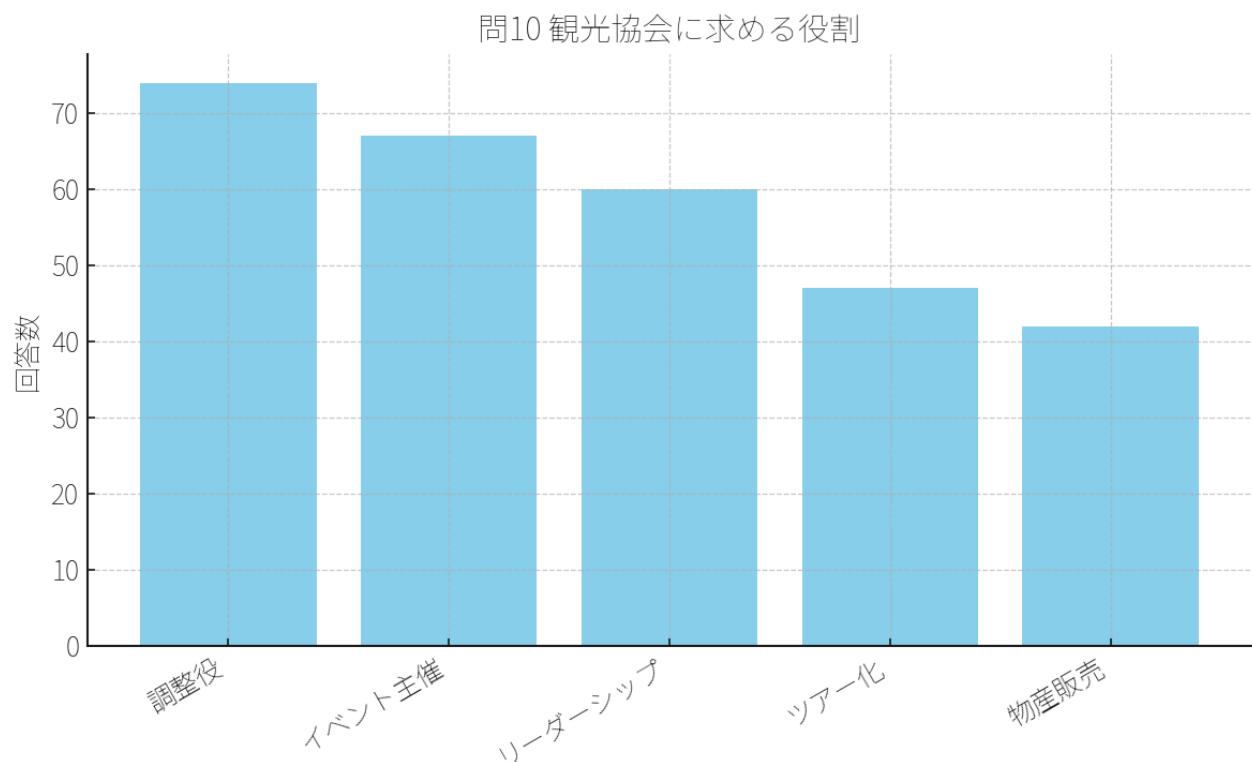
項目 回答数

地元事業者をつなげる調整役・コーディネート役	74
イベントやお祭りなどを主催する取りまとめ役	67
観光客を誘致するための強力なリーダーシップ	60
地元の魅力をツア化し観光客を呼び込む旗振り役	47
地元のものを売る物産の販売の取りまとめ役	42

分析:最も多かったのは「地元事業者をつなげる調整・コーディネート役(74 票)」であり、観光協会に対しては連携・ネットワーク構築のハブ機能が強く求められている。

「イベントや祭りの主催(67 票)」「観光客誘致のリーダーシップ(60 票)」も高評価で、戦略的推進力と実行力の双方が期待されている。

「ツア化・商品化」「物産販売」なども一定の支持を得ており、地域資源を具体的な形に落とし込む企画力・販売力の強化が課題。



■ 質問 11:自由意見

(例:「SNS での発信が必要」「町外との連携を」「もっとアピールを」など) 【分析】自由記述には情報発信の強化、地域資源の魅力発信への期待が多く見られた。町民の主体的な観光推進意識も伺える。